

音楽のかけはし コンサート

2010 9/26 [日]
午後 2:00 開演 [開場 午後 1:30]
文翔館 議場ホール

[出演]

メゾソプラノ：駒ヶ嶺 ゆかり
テノール：相澤 伸彦
ヴァイオリン：ヤンネ 館野
ピアノ：高橋 麻子

- 主催 (NPO) 山形の音楽活動を応援する会・Mプロジェクト
- 共催 (財) 山形県生涯学習文化財団 (文翔館文化活動支援事業)
- 助成 株式会社ンペール山形市文化・芸術支援基金
- 後援 (社) 山形交響楽協会、山形オペラ協会

ごあいさつ

本日はお忙しい中、「音楽のかけはしコンサート」へお運びいただき有り難うございます。音楽は、時代から時代へ、国から国へ、そして人から人への「かけはし」という思いで、このコンサートを企画致しました。初秋のひととき、演奏者による楽しいお話を交えつつお届けする素敵な音楽を、皆さまにお楽しみいただければ幸いです。

Mプロジェクト一同



Program



佐藤 敏直 こどものためのピアノ曲集「ちいさなパレット」より
『あめのおと あまぐつのおと、惑星』

佐藤 敏直 「ピアノ淡彩画帖」より『黄と黒の季節』

G.フォーレ 秋、夢の後に、トスカーナのセレナーデ

J. シベリウス ノヴェレッテ、ワルツ

J. シベリウス 「6つの花の歌」
『青いアネモネ』『二つのバラ』『白いアネモネ』『アネモネ』
『いばら』『花の運命』

J. シベリウス 水 仙

休 憩

R. シューマン ヴァイオリン・ソナタ 1番

山田 耕筰 「曼珠沙華」

小林 秀雄 「落葉松」

藤原 義久 歌集「みちのく晩夏」
『峠』『乙女』『慶長の…』『余光がなかに』『夏だけがたの』

ロベルト・シューマン 1810年～1856年

ドイツの作曲家、音楽評論家。ロマン派音楽を代表する一人。ピアノ作品に文学的標題性を持たせて、ロマン派ピアノ作品の基となった。

ガブリエル・フォーレ 1845年～1924年

フランスの作曲家。フランス近代音楽のさきがけとなって、歌曲を充実発展させた。

ジャン・シベリウス 1865年～1957年

フィンランドの作曲家。北欧の自然を基調にした民族的な音楽を開拓し、国民的な英雄として尊敬を集めている。

山田 耕筈 1886年～1965年

東京生まれの作曲家、指揮者。ドイツ後期ロマン派風の豊麗な響きのオーケストラ作品やオペラを作曲。童謡作品も多数。

小林 秀雄 1931年～

東京都生まれの作曲家。歌曲や合唱曲などの声楽作品及びピアノ曲を主に手がけ、特に独唱曲「落葉松」は有名であり、のちに作曲者自身の手で混声合唱・女声合唱・男声合唱に編曲された。

佐藤 敏直 1936年～2002年

山形県鶴岡市生まれの作曲家。慶應義塾大学工学部で電気工学を専攻する傍ら作曲を志し、清瀬保二氏に師事。1959年、第28回日本音楽コンクールに入選。同時に、作曲グループ「耕人会」や日本現代音楽協会を中心に発表活動に入る。当初から民族的な感覚の濃い色彩豊かな音の響きを特徴とする作品を継続的に発表した。

藤原 義久 1939年～ ※以下、自己紹介頂きました。

東京生まれの作曲家。東京芸術大学とパリ音楽院で作曲技法を学ぶ。終身の肩書は山形大学名誉教授。他に学習院大学哲学科、東京音楽大学、東北芸術工科大学などで後進の指導にあたった。定年退官を期に＜新進の隠居にして横丁の作曲家＞として老後デビューし、若い音楽家達に助けられながら作品を発表している。

最近の作品は合唱オペラ『ピエトロの息子』（名古屋市民芸術祭特別審査員賞受賞）、山形での作品としては『奥の細道 夏…最上川』、共同制作したカンタータ『いのちの樹』、オペラ『紅の石』など。

約30年暮らした山形を、勝手に第二の故郷と思い定めた爺である。

Mプロジェクト
主催事業
次回予告

舘野泉 ピアノ・リサイタル ～演奏生活50周年記念～

1月16日(日) 開場/13:30 開演/14:00

- 会場/テルサホール
- チケット料金[全席指定]/未定

純度の高い、透明な抒情を紡ぎ出す、この孤高の鍵盤詩人は、40周年記念リサイタルを行った翌年、脳溢血で倒れ右半身不随となり、2004年5月に左手による演奏会で復帰をはたしました。命の水脈をたどるようにして取り組んだ左手による作品は、静かに燃える愛情に裏打ちされ、聴く人の心に忘れがたい刻印を残します。今回は山形交響楽団で活躍のヤンネ舘野(ヴァイオリン)との共演も実現します。ご期待下さい!!

演奏予定プログラム

パッハーブラームス:シャコンヌ短調

パブロ・エスカンテ:ヴァイオリンとピアノのための夜想曲とロンディーノ(ヴァイオリン:ヤンネ舘野)



[お問合わせ] 090-5234-1223 (木村)



メゾソプラノ 駒ヶ嶺 ゆかり

札幌市出身。北星学園女子高等学校音楽科を経て、札幌大谷短期大学音楽科卒業。同学専攻科・研究科修了。98～01年フィンランドに留学。館野泉氏、マリア・ホロパイネン女史のもとで北欧歌曲を中心に研鑽を積む。オウルンサロ音楽祭、在フィンランド日本大使館主催「日・芬修好80周年記念演奏会」、ミレニウムコンサートの『第九』のソリストを務める。帰国後、東京、関西、東北、北海道内各地でリサイタルを開催。07年札幌市民芸術祭大賞受賞。09年札幌文化奨励賞受賞。同年、(財)道銀芸術文化奨励賞受賞、札幌交響楽団と共演。04年より前人未踏の「シベリウス歌曲全曲演奏会」(東京)に取り組み、4年をかけ全8回のリサイタルを完結した。日本シベリウス協会、

在日フィンランド大使館、日本テレマン協会、新日鉄文化財団等の要請を受け、北欧音楽祭や演奏会に出演。06年からは「札幌・北欧の森」をプロデュースしている。日本シベリウス協会理事 北海道二期会、北海道国際音楽交流協会各会員。



テノール 相澤 伸彦

リリコ・スピント・テノール。東京音楽大学卒業。二期会オペラスタジオ、予科並びに本科修了。1993年から1994年にかけて、イタリアのミラノに留学。アッリーゴ・ポーラに師事し、イタリアオペラの歌唱を学ぶ。また、リシャル・デリリュエにフランス歌曲を師事している。オペラにおいては、「こうもり」のアイゼンシュタイン、「魔笛」のタミーノ、「フィガロの結婚」のバジーリオ、「コジ・ファン・トゥッテ」のフェランド、「ラ・ボエーム」のロドルフォ、「ランメルモールのルチア」のエドガルド、「小鶴」の寺川藤三郎、「乙和の椿」の山伏、「ドン・キホーテ物語」のドン・キホーテ、「小さな煙突そうじ屋さん」のクレム、等、多数出演。また、ベートーヴェンの第九交響曲

のソリストとして、山形交響楽団、山形フィルハーモニー・オーケストラと共演している。また、東京、埼玉、長野、神奈川、秋田、山形、においてコンサートに出演している。東京音楽大学校友会山形県支部支部長、山形オペラ協会会員、音楽スタジオ「カルーゾ」主宰。



ヴァイオリン ヤンネ 舘野

1975年フィンランド・ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ音楽院でオルガ・パルハメンコ、シカゴ芸術音楽学院にて森悠子氏に師事。1998年から2007年まで毎年オウルンサロ音楽祭(フィンランド)に出演。2005年丹波の森国際音楽祭のシンボルアーティストとして招聘されて以来毎年出演。2008年より毎年セヴラック音楽祭(フランス)、森と水、月光の調べフェスティバル(鶴岡市)に出演。現在ヘルシンキを拠点とする、ラテンペスタ室内管弦楽団のコンサートマスター、山形交響楽団第2ヴァイオリン首席奏者、森悠子氏主宰の長岡京室内アンサンブル、ユーシア・クアルテット、Tangueros Polares、Tangueros Articosでの出演、また東北、東京、関西を中心に日本各地で

の室内楽、ソロ演奏など、フィンランド、日本、二つの祖国において幅広い活動を展開。2007年オウルンサロ音楽祭(音楽監督・舘野泉)の日本版をプロデュース。以来全体を見渡せる広い視野と感覚を活かしプロデューサーとしても活躍している。



ピアノ 高橋 麻子

山形大学教育学部附属中学校、宮城県第一女子高等学校を経て宮城学院女子大学音楽科卒業。同研究科へ進学するが、渡独。ベルリン芸術大学卒業、モーツァルテウム大学修士課程を演奏・論文ともに最優秀賞を得て修了。全東北ピアノコンクール第2位、園田高弘賞ピアノコンクール第3位受賞、九州交響楽団と演奏。日本ピアノ教育連盟オーディション本選入賞。日演連新人演奏会にて仙台フィルハーモニー管弦楽団と演奏。読売新人演奏会出演。ローマ、ブッキ音楽コンクール第4位。03年帰国。

99、00、01、04、08年リサイタル開催。05年より「音楽の旅」シリーズ演奏会開始。06年仙台市芸術祭市民企画スペシャルセレクション「アイネ・グローセ・ナハトムジーク」主催・出演。平成20年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。現在、宮城学院女子大学音楽科、同附属音楽教室、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師。野沢真弓、林秀光、浅野繁、ハンス・ライグラフ、ライナー・ベッカー各氏に師事。